

アジャイル開発プロジェクトを 横串で見るためには どうすればよいか

分科会議論のご紹介

アジャイル分科会

横串チーム

はじめに

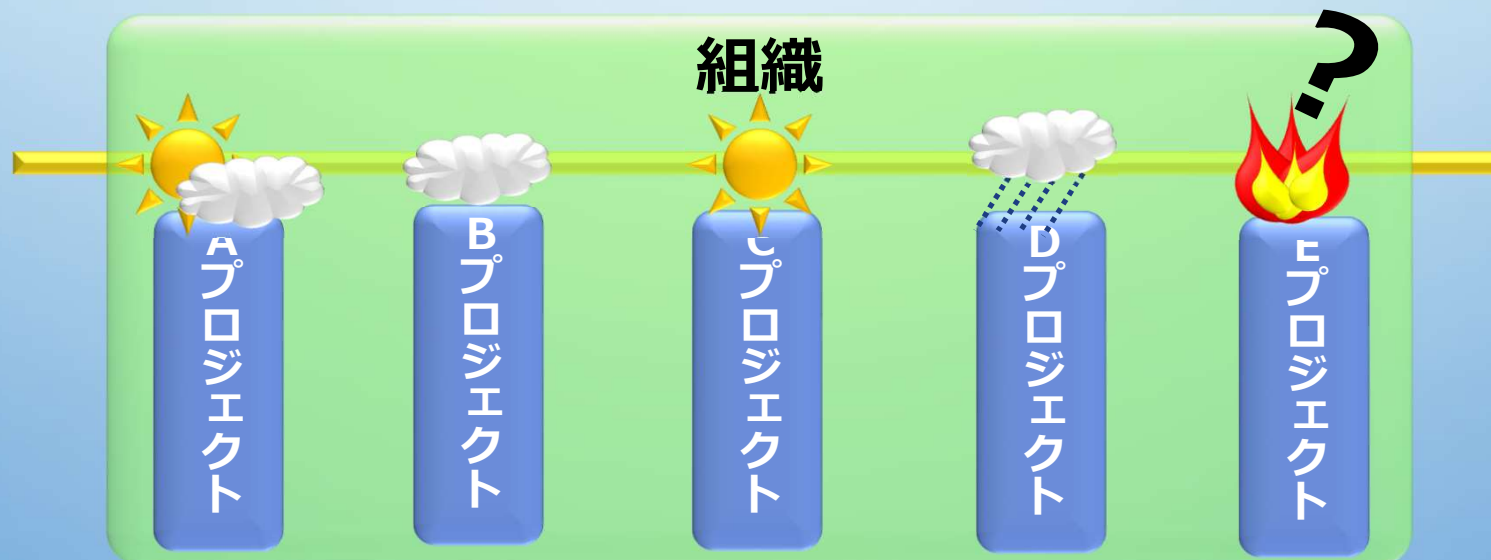
- アジャイル分科会では、メンバーが職場で直面した課題をテーマに取り上げ、解決策を議論しています。
- ここでは、まだ解決に至っていませんが、分科会での議論の一端をご紹介します。
- みなさまの職場において、同様な課題に直面した際の参考になれば幸いです。

目次

1. ここで言う横串とは
2. なぜ横串で見たいのか
3. アジャイルは横串で見れないのか
4. 横串で見るべき事項（指標）は何か
5. 横串の指標に変換すべき

1. ここで言う横串とは

- ある組織単位の中で（例えば、部、本部、会社等）、複数のプロジェクトを比較できる同じ指標のこと。



2. なぜ横串で見たいのか

- 多くのプロジェクトの中から問題のあるプロジェクトを容易に抽出し、組織的マネジメントによりQCDリスクを回避するため。



- 失敗プロジェクトを減らし、利益を最大化するため。

**プロジェクトが少なければよいが、多いと経営層は見きれない
問題のありそうなプロジェクトだけピックアップしたい**

3. アジャイルは横串で見れないのか

- プロジェクトによって開発プロセス（採用するプラクティス）が違うので同じ指標を使えない？
- 自己組織化が推奨されるアジャイル開発（スクラム）の性質上、プロセス標準化に指向されにくい？

Aプロジェクトのプロセス

Bプロジェクトのプロセス

Cプロジェクトのプロセス

※スクラムガイドTM(Developed and sustained by Ken Schwaber and Jeff Sutherland)より

「自己組織化チームは、チーム外の他の人に指示されるのではなく、自分の仕事をどのように達成するのが最善かを選択します。」

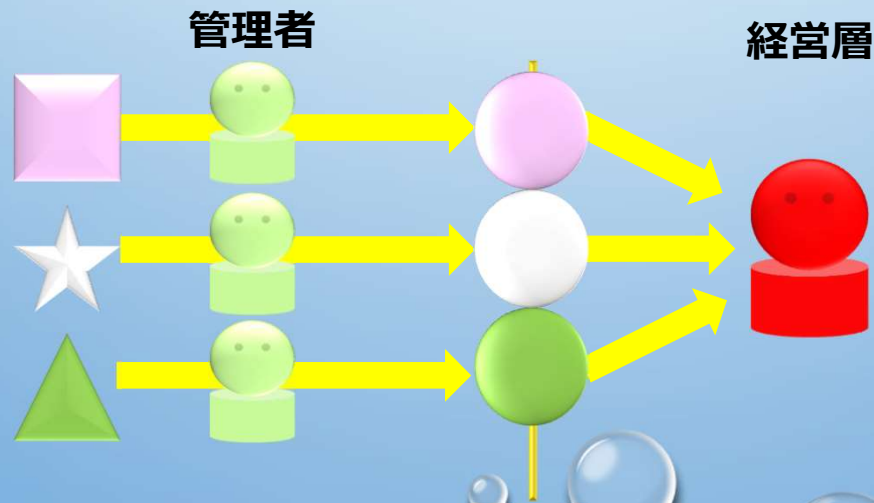
4. 横串で見るべき事項（指標）は何か

- ウォーターフォールの指標と同じでいい（QCD各々を示す指標）？
ただし、取りにくい指標や役に立たない指標を無理に取らない。
- アジャイル開発特有のプロセスやプラクティスの状況を見るための指標を取ることも場合によっては必要。

- ・ リリース計画の予実
- ・ バーンダウンチャートの予実
- ・ ベロシティの推移
- ・ プロダクトバックログの増減状況
- ・ プロダクトオーナーの関与度合い（フィードバックの頻度） など

5. 横串の指標に変換すべき

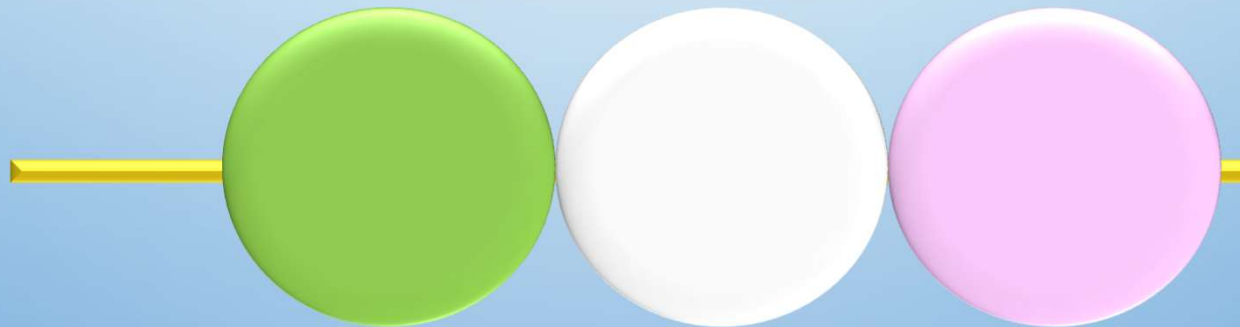
- プロジェクトの见たい形と経営層の见たい形が違ふのであれば、プロジェクト管理者が横串の指標に変換して経営層に見せる。
- 経営層自身が現場に居れば変換は不要であるが、会社が大きくプロジェクトが多ければ横串で見られることが求められるのは必然。



何をどう
変換すれば
よいのか？

議論はつづく・・・？

- 横串で見ることはできるのか？
- 横串指標への変換方法を模索するのか？
- 横串ではなく縦串（？）で見るべきではないか？



アジャイル開発プロジェクトを
横串で見るためには
どうすればよいか

分科会議論のご紹介

ご清聴ありがとうございました。